



明治道石積み

明治道のところどころには、見事な石積みが残ります。



始神峠

標高147m。かつては茶屋があり、今は土台の石積みが残っています。



峠の展望台

紀伊の松島の島々が熊野灘に浮かぶ優美な景色が開けます。澄んだ日は志摩半島まで見渡せます。



江戸道

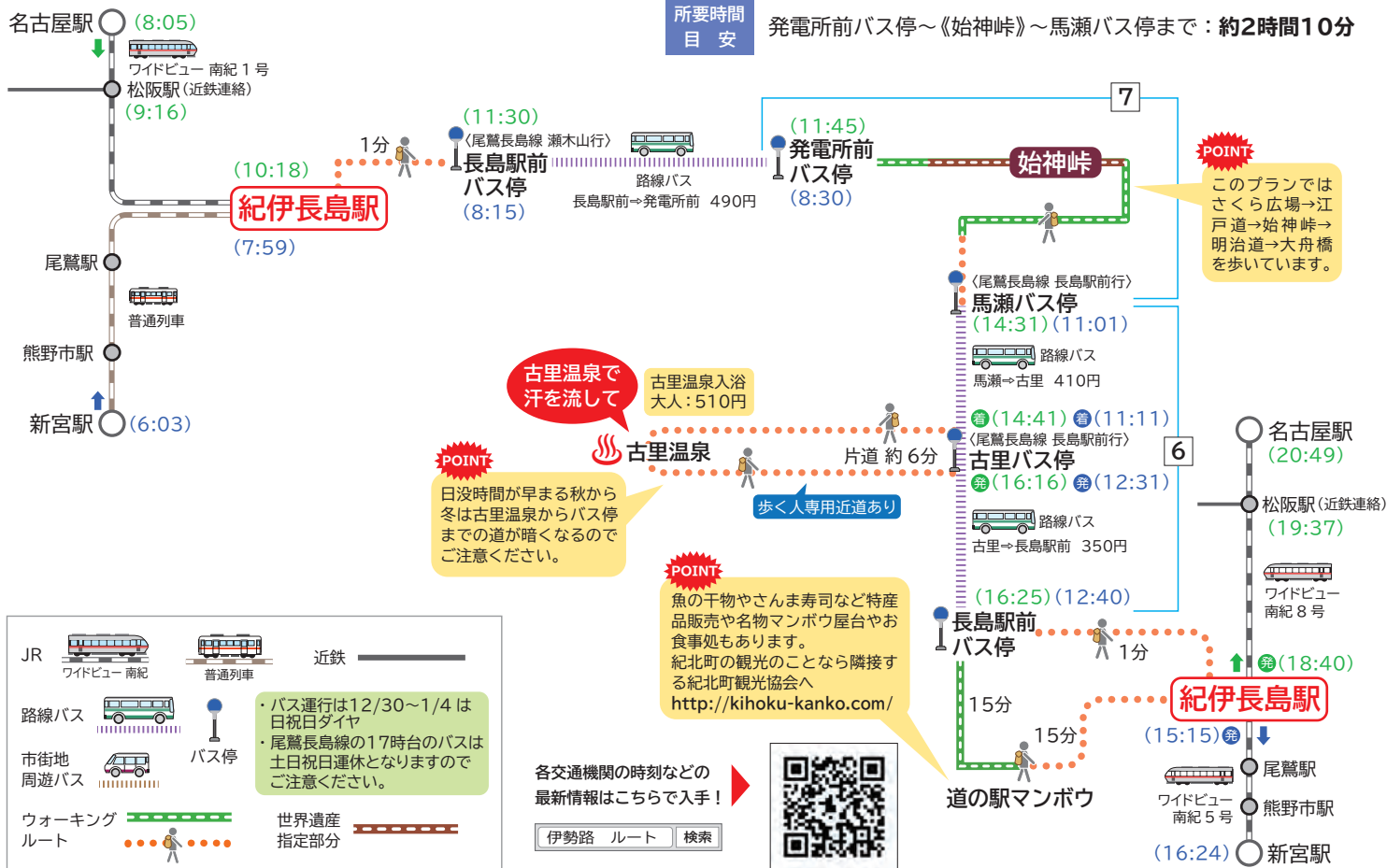
段端だけ石を並べた石段ですが、排水のためや、草鞋を洗うために使われたといわれる洗い越しが数ヶ所に残っています。

- 距離 / 約3.5km (始神さくら広場発着、峠折返し)
- 歩行時間 / 1時間50分 (始神さくら広場～江戸道～峠～明治道～大舟橋の距離・歩行時間は別紙)

■ 散策レベル / ★★★

■ コースの特徴 / サンショウウオを意味する「椒」(はじかみ)が峠の名前の由来。江戸道コースと明治道コースがあり、始神峠で合流します。どちらも比較的歩きやすい道ですが、江戸道は少しきついです。峠の展望台からは紀伊の松島と呼ばれる島々を一望できます。

# はじ かみ 始神峠道・古里温泉



**の十七**  
 みらう はじかみどり うまじ  
**三浦から始神峠を経て馬瀬まで**  
 5km 100分

**「始神峠」名の由来**  
 始神はもと「林叉」(はしや)であり、山林又原を意味します。大舟川(土流)にプナサンショウウオがたく住息する故にも。

**明治道の項道**  
 今山坂。江戸道と行く国道に出発。周遊道ではおおよそ(世界遺産として登録されている)の項道。

トシ藩の東屋のある民家は、古道と大車にしてくるお宅。なほ東屋はすてき! 是非お立ち下り!

用水路を右手に眺めずみまます

明治道との交差点 道が広くなります!

給水

**む**

道標No.22

最初は比較的ゆるい傾斜です。

一気に登ります! がんばりま〜!!

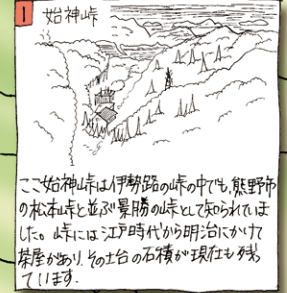
国道から離れたあたりから石だらけの道に... 歩きにくい!

木の根っこが張り出して、歩きづらくない!

**始神峠**

川の中の道を行きつら! でも水があつたの木の葉を渡ろう!

道標No.23



**「江戸道」と「明治道」**  
 始神峠には、江戸時代に整備されたかつての古道の通が江戸道と、明治時代に主に物資を運ぶ為の馬車が行く様に造られた明治道とがあります。往路は緩やかな雑木とヒキの明治道と、復路は石段の残る古道の雰囲気漂う江戸道と、周遊道もできるコースです。

0 100m 500m